



発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-1/電話 0261-82-3100）



## 稗田山崩れ100年の行事開催

日本3大山崩れの一つ小谷村の「稗田山崩れ」から100年が経ち、国土交通省松本砂防事務所・長野県・小谷村・白馬村等で構成する実行委員会が記念事業を開催しました。

### \*\*\*\*\* 稗田山崩壊100年シンポジウム（8月8日）\*\*\*\*\*

このシンポジウムは、会場の小谷小学校に阿部守一知事や前川国土交通省北陸地方整備局長等を来賓に迎え、町田洋 東京都立大学名誉教授の講演、パネルディスカッション、ビデオ上映、小谷小児童の発表などが行われました。

参加者は、県内外の地質専門家から一般の方まで会場内を埋め尽くす約450人で、真夏の体育館は気温上昇と熱気でサウナのようにでした。こうした中、講演・パネルディスカッションなどの発表に真剣な眼差しで聴き入り、質問をする方も大勢おり、時間の関係で打ち切りとなったほどでした。

ビデオ上映では、100年前の被害状況や明治生まれの災害体験者のインタビューに、悲惨な災害を身近に感じ、学ぶべき教訓として後世に継承していくことの大切さを再認識するよい機会となりました。



満員の会場

### \*\*\*\*\* 現地見学会（8月9日）\*\*\*\*\*



金谷橋から見た浦川と稗田山崩れ(写真上部)

翌日の現地見学会には、約150名が参加し、7台の小型バス等に分乗して、稗田山崩れにゆかりの小谷村の「浦川上流金谷橋～幸田文文学碑(歲月茫茫)～常法寺～来馬(クルマ)河原」などを見学しました。

金山橋からは稗田山崩れが一望でき、参加された方々は、その崩壊の規模の大きさに大変驚いていました。

浦川は、今も少しの雨でも、稗田山からの土石流が頻発していることから、現在の砂防工事は、無人化施工等で行っていると、工事関係者からの説明も聞きました。

幸田文文学碑と新たに100周年を記念して建立された慰霊碑・記念碑「稗田山崩れて百年」の前で、地元の方からの説明に熱心に耳を傾けていました。



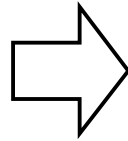
## 柵池沢の草刈りを実施



7月28日、小谷村柵池にある砂防施設・柵池沢流路工の維持管理を目的として草刈りを行いました。

姫川建設業協会と姫川砂防事務所職員の30名が参加し、大粒の雨が降る悪天候の中、半日かけて約1.5kmの区間で作業し流路を覆っていた草を取り除きました。(成果は写真のとおり)

日頃から、砂防等施設の維持管理活動に御協力いただいている地域の皆様には心から感謝申し上げます。また、このような事業行っていただける里親の方を募集しておりますので、御参加をよろしく申し上げます。



### 大発生！！？

小谷村の山中ではお盆前後の1ヶ月ほど、ウルルという吸血性のアブが大発生します。ハエを少し大きくしたような目の大きなこのアブ、富山県ではオロロと呼ばれるようですが、正式名はイロシロオビアブといいます。二酸化炭素を感知して寄ってくるので、人間や獣だけでなく、車にも沢山まとわりついてくるので、車から出たくでも出られずちょっと恐怖です。



刺されると、痛くて、痒いんですよ

### 所長 コーナー



唐松山荘



お母さんと3羽の子ども達

7月22日(金)、八方ゴンドラ経由で唐松岳へ。唐松山荘の赤が晴天に映えて、とてもキレイでした。登山道で雷鳥に出会いました。雷鳥は「砂浴び」をするんですね！！

### 《9月・10月の主なイベント》

#### 白馬村

- \* 9月11日(日)  
「秋の唐松岳 ガイドトレッキング」
- \* 9月17日(土)~9月25日(日)  
「収穫祭 (白馬五竜)」

#### 小谷村

- \* 9月23日(金)~10月2日(日)  
「柵池自然園 紅葉祭り」
- \* 10月1日(土)・2日(日)  
「きのこ祭り (サンティンおたり)」

